



これは
なに？

散歩先はわくわく・どきどき・発見がいっぱい！

天気の良い日は、園庭だけではなく、園外にもたくさん散歩へ出かけています。散歩先では、中々園で出会えない草花や虫との出会いがあり、様々な自然と触れ合うことができています。又、子ども達は、虫や草花がだーいすき！散歩へ出かける道中に自然物との出会いがあると、立ち止まり、「これはなに？」「きれいやねえ」「鳥さんの鳴き声聞こえたよ！」等と興味津々で保育者に尋ねてきます。このような子ども達の姿に、保育者も一緒に足を止め、見たり、触ったりして子ども達の興味や発見に寄り添い、散歩をしています。

子ども達はこのようなところを散歩しています

武田さんのお庭

「わあっ」
ホーホケキョっ！と、うぐいすの鳴き声が聞こえました♪



自然に触れる体験等を通し、身近な事象への興味・関心が高まります。好奇心・探求心を持って環境や自然と関わり、心動かされるたくさんの事に出会っていきます。

「鳥さんの鳴き声聞こえた方に行ってみよう！」

白山神社

「枯れ葉シャワー！」
ここには、どんぐりや枯れ葉がたくさんあります。



「先生見てー！」
道中何かを見つけたようです。

諏訪神社



“ちょっと怖いけど触ってみようかな…”
保育者の手に乗っていることで安心してダンゴムシを触ってみようとしています。

子ども達が興味を持った物に、保育者も一緒に興味を示し、関わったり共感したりすることで、子ども達も発見が楽しくなり、更に興味が深まります。



★この他にも、芝生広場や熊野神社さんにもお邪魔させて頂いています。

このハーモニーを通して地域の方から身近な情報を頂きたいと考えています。例えば、“家にアゲハチョウの卵があるよ！”“幼虫がたくさんいるよ！”等教えて頂き、園や子ども達、地域の方々とのつながりができたらいいと思っています。お力を貸して頂けると嬉しいです。よろしくお願いいたします。

地域の皆様、こんにちは。いつも松陽こども園を温かく見守っていただき、ありがとうございます。今年度の始まりは、コロナウイルス感染拡大防止の為、緊急に対策や対応に追われ、通常のエデュケーションが進められませんでした。そんな状況ではありますが、早く収束することを願い、早く子ども達の笑顔いっぱいの子ども園に戻ることを願っています。
今年度も情報誌を変わらず発行していきますので、どうぞご覧いただきますようお願いいたします。

今年度から新しい園長先生になりました

暖かい日差しの中、汗ばむくらい戸外遊びを楽しんでいる子ども達です。今年は、新型コロナウイルス感染の為、入園式や春の親子遠足等全ての行事が中止や延期になる寂しい幕開けとなりましたが、子ども達はこれまでと変わらず元気な声を張り上げ、力強く走り回っています。

約30年前公立保育所時代5年間勤務していました。その頃、園庭に保護者や地元の方々のご協力によって「ハウス」を作ってもらい、子ども達は中で作物を植えたり、草花を摘んだり、土遊びを楽しんだりしていました。そのシンボルのハウスが運動会を前日に控えた夜に、台風で吹き飛ばされてしまい、朝、曲がって折れた骨組みだけが残されたハウスを見て立ちすくんでしまった事を今でも鮮明に覚えています。その頃から松陽こども園は地域の皆様に支えられ歩んできました。現在畑を提供して頂いている竹本さんや、1年通じてお茶のお稽古でお世話になっている武田さんには園活動に対し支援・ご指導いただいていることに心から感謝いたします。このように地域の方々のご協力があってこそ、園生活だけでは経験できない人との交流や体験ができます。これからも地域の方々のお力をお借りして、子ども達の園生活を充実したものにしていきたく思います。(園長：森 都)

松陽こども園の教育・保育理念

「善隣のこころ」

“いつでも どこでも そしてだれにでも われ等 善き隣人たらん”
子どもの最善の利益を考慮し、生きる力の基礎を培います。子どもと子育てにやさしい社会を目指し、保護者・地域の方と協力します。

松陽こども園では、教育・保育方針に『三つのゼン(安全・自然・積善)』を掲げています。子どもたちが健康・安全で情緒の安定した生活が出来るように心の土台を育む(安全)、本物の自然に触れ、深い感動と豊かな感性を育てる(自然)、善悪の判断等や道徳性の芽生え(積善)を育むことにより、教育・保育目標の『心身ともに健やかな子ども』の育成へと繋げていきます。

松陽こども園の教育・保育方針



色々なことを経験しています(5歳児年長組)

たけのこの皮むき体験

栄養士さんにタケノコを切ってもらい匂いを嗅ぐと「なんかくさい」「くさくないし」「いい匂い」などと呟く子ども達。中にはタケノコの青臭さを「バナナみたいな匂いする」と表現する子もいました。おもしろいですね。一人ずつ順番に皮むきをし「皮硬いね」「ちょっと難しい」と言ったり、どこまで皮がむけるのか気にしたりしていました。皮をむいたタケノコは翌日の給食で含め煮として食べました。「これ昨日のタケノコやね！」等と友だちと顔を見合わせながら美味しそうに食べていましたよ。

このような経験を通し、食に関わることを子ども達の生活の一部と捉え、保育の中に取り入れていくことも大切に行っています。

「だんだん小さくなってきた！」「食べるところなくなるかも…」



今年度より新任・異動してきた先生を紹介します



もり みやこ (園長)



いずみかわ あかり (看護師)



まえだ あいり (保育教諭)



たきがわ かおり (栄養士)



まつおか あさみ (保育教諭)



うめだ シンチア マユミ (翻訳通訳)